

ベーゼンドルファー ピアノコンサート



～使用ピアノ～ ヨハン・シュトラウス モデル

会場：日本橋三越本館1F
中央ホール

入場無料・自由席
各回20分程度

「美しき青きドナウ」でおなじみの偉大な音楽家
ヨハン・シュトラウスII 世も愛用したベーゼンドルファー。
ウィーンにあるヨハン・シュトラウス記念館に
保管・展示されている楽器を復刻しました。

7月28日（金）

14:00/16:00/18:00



ヨハン・シュトラウスII 世：
ウィーン気質

シューベルト：即興曲 op.90-3 変ト長調

ゴトフスキー：古きウィーン

ジーツインスキー：

ウィーンわが夢のまち

チャイコフスキー：バレエ「くるみ割り
人形」より 花のワルツ

山口友由実 Yamaguchi Yuumi

東京音楽大学大学院修了。2015年ウィーン国立音楽大学大学院ピアノ室内楽科を満場一致の最優秀で修了。

10歳のときにテレビ朝日系「題名のない音楽会」に独奏で出演。2011年第18回スラムス国際コンクールピアノ部門第3位を機に、ウィーン楽友協会でのリサイタルをはじめヨーロッパおよび日本各地でのコンサートに招聘され、ソロ、室内楽との共演など幅広く活動。

2016年にデビューCD「謝肉祭～音列の風景たち～」を発売し、レコード芸術誌上で準特選盤に選ばれた。

7月29日（土）

14:00/16:00



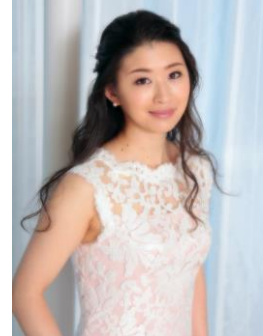
8月にひかえるスギ・ウギ・ピアノライスの雰囲気を一足先にスギ・ウギ即興などでお届けします。兄との一台四手連弾レ・フレールでの活動や、様々なアーティストとのコラボレーションを通じて培われたインスピレーションから生まれたオリジナル楽曲もお送りします。

斎藤圭土 Saito Keito

6歳から17歳までクラシック・ピアノを学ぶ。15歳よりルクセンブルク国立音楽学校に留学し、ガーリー・ミュラー氏に師事。帰国後、日本でただひとりのスギ・ウギ&スルスピアニストとして、兄・斎藤守也との1台4手連弾ユニット「レ・フレール」として、英国ロイヤルオペラハウスのコンサートマスターでもあるヴァスコ・ヴァッシレフ (V) とのユニット KEITO & VASKO Viano” のメンバーとして、作曲家として、多角的かつ精力的に活動を展開している。

7月30日（日）

14:00/16:00



J. S. バッハ：
平均律クラヴィーア曲集 第2巻
第11番 ヘ長調 BWV880

スカルラッティ：
ソナタ ハ長調 K.513/L.S3

クライスラー：(ラフマニノフ編曲)
愛の悲しみ、愛の喜び

酒井有彩 Sakai Arisa

文化庁新進芸術家在外研修員。ベルリン芸術大学を最優秀で卒業、国家演奏家資格取得。浜松国際ピアノアカデミーソロミシング・アーティスト賞。堺国際第1位、マルサ市国際第2位ジュネーブ国際セミファイナリスト。スズニ国際ファイナルスカラシッス。レオポルド・ベラン国際第1位。ポーランド国立放送響、リベイルンスレート響、大阪交響楽団、モディリアーニ弦楽四重奏団等と共演。NHK FM「リサイタル・ノヴァ」出演。

CHANEL Pygmalion Daysアーティスト。